

平成29年度 北信州クラブ 指導方針

チームの基本理念

- (1) 部活動を“引退”した3年生にとって、高校入学までの期間は、中学野球から高校野球への接続、軟式野球から硬式野球への移行という観点から非常に重要であり、KWBボールと硬式球を使った活動を通して、そうした子どもたちに野球を続ける機会を提供する。
- (2) 野球を通して他校の生徒と交流することで、新たな刺激を受け、自らの野球への取り組みを見直す機会とするとともに、切磋琢磨しながら野球の技術向上を目指す。
- (3) 軟式から硬式への移行に適しているKWBボールを使用して野球に取り組むことで、怪我なくスムーズに高校野球への準備ができるようにする。
- (4) 大会出場を通して、長野県や全国の高いレベルの野球に触れることにより、さらなる向上心を得るとともに、高い目標を持って野球に取り組めるようにする。

指導方針

(1) 野球障害を絶対に起こさせない指導

- ① 中学の部活引退から高校入学までの期間は、ケガや病気を治すための休養期間でもあると考えています。痛み等を抱えている選手には絶対に無理をさせません。選手の意思ではなく、ドクターや保護者の意見・指導陣の将来を見据えた決断を優先させます。
- ② 高校野球への接続を目指すか、高校野球の練習の真似をするということではありません。あくまでも取り組むのは中学3年生であり、発育段階に応じた指導をしていきます。
- ③ KWBボールは、硬式球と同じ重さがあるので、軟式球よりも体への負担が大きくなります。軟式球からKWBボールへの移行は慎重に、スモールステップで行うことを心がけます。
- ④ 指導者は積極的に研修に励み、自身の経験だけに頼らない指導を心がけます。

(2) 野球人たる前に学生（人）であれ

- ① 「今、野球をやっているのは当たり前ではない」という意識を常に持ち、保護者・地域の方々・学校の先生方・グラウンド・道具等に常に感謝の気持ちを持てるよう、あらゆる場面で礼儀や作法を徹底して指導します。挨拶・用具や道具の扱い方・荷物整理・移動先での立ち振る舞い等がしっかり身に付いていない選手は、たとえ野球の実力があろうとも、試合では起用しません。

- ② あくまでも学業優先です。野球だけでなく、何事にも一生懸命に取り組む選手を積極的に試合でも起用していきます。

(3) 個に応じた指導

- ① 一人一人のレベルアップを第一に考え、チームの勝利のみを追求することなく、選手の夢を夢で終わらせないために、全力で選手をバックアップします。
- ② 一人一人違うであろう課題の解決のために、全体練習だけではなく、個に応じた指導を行います。指導者の考えを押し付けるのではなく、指導や助言の意図・目的等も伝えながら、一人一人の選手の質問や悩みに真摯に耳を傾け、その解決策を一緒に考えていきます。
- ③ それぞれの選手の個性を大切に、良い部分を伸ばす指導を心がけます。それと併せて、課題にもしっかり向き合い、できた喜びを共有できるような指導を目指します。

(4) 基準を明確にした指導

- ① 「ちゃんとやれ」とか「しっかりやれ」という曖昧な指導ではなく、指導者としてどこに基準を置いて評価しているのかを選手に明確に伝え、選手自身が何をどうすればいいのかがはっきりと分かるような指導をしていきます。
- ② 全員が同じ目的を持って練習に取り組むことができるようにするために、チームとしての基準（約束事）を明確に設け、それをチーム全体で共有できるようにしていきます。

(5) 目指すは全国制覇。そして、その先へ。

- ① 全国大会への出場を目指し、全国で勝てるチーム作りをします。選手・保護者・指導者が三位一体となった全員野球で、北信州から全国制覇を目指します。全ては選手のために、保護者・指導者も一緒に夢を追いかけながら、気持ちを一つに、スクラムを組んで活動していきたいと願っています。
- ② 高校野球につなげることを常に念頭に置き、高校野球で通用する体作りを目指し、トレーニングと栄養・休養のバランスを大切にされた指導をしていきます。

(6) 出合いを大切に！

今まで違うチームで野球をしてきた仲間が集い、迎合し合うのではなく、同じ目標に向かって互いに切磋琢磨していけるチームを目指します。そして、多くの球友を作り、厳しい高校受験を支え合いながら乗り越えられるような仲間作りをしていきたいと思えます。